

流通

# 旧上野鉄道関連施設



流通

**指定名称**  
下仁田町・富岡市指定  
重要文化財鬼ヶ沢橋梁

**所在地**  
下仁田町白山滝ノ尻～  
富岡市南蛇井小坂坂地内

**指定範囲**  
長さ 10m

**所有**  
上信電鉄(株)

**名称**  
下仁田倉庫

**所在地**  
下仁田町下仁田

**面積**  
1号倉庫 158.66  
2号倉庫 330.56

**所有**  
民間

## 概要

上野鉄道は明治30年（1897）、高崎～下仁田間33.7kmに敷設された軌道幅762mmの軽便鉄道で、富岡や下仁田地域の繭や生糸、蚕種の輸送のため建設されました。当時、富岡製糸場を経営していた三井家に関連する、三井銀行総長三井高保が筆頭株主となり、株主563人の内、327人が南蛇井（富岡市）以西の養蚕農家でした。

鬼ヶ沢橋梁は、富岡市と下仁田町の間を流れる大谷川に架けられた長さ10m 幅1mの上野鉄道の鉄橋です。橋台部分は縁石にクヌギ石、壁面にレンガが用いられています。橋桁は鉄製で鋼板は輸入された物ですが、メートル法を用いて設計されていることから国産の鉄橋と考えられ、上野鉄道の他の橋梁が月嶋製鉄所製である事から、この橋も月嶋製鉄所のものと推測されています。

上野鉄道は、大正10年（1921）上信電気鉄道株式会社に社名を変更し、大正13年（1924）電化工事を行いました。鬼ヶ沢橋梁付近は地形が険しいことから路線が付け替えられたため、取り壊されずに残り、その後は地元の方の生活用道路として活用されてきました。

下仁田倉庫は、下仁田周辺で繭の買い付けを行った繭商人が、繭の保管を行った倉庫です。

大正9年（1920）に設立された下仁田倉庫株式会社が経営し、株主には、上野鉄道の株主が加わり、構内には上野鉄道の引き込み線も敷設されるなど、上野鉄道と深いつながりがありました。

大正10年（1921）に建てられた東側の1号倉庫と、大正15年（1926）に建てられた西側の2号倉庫からなり、かつては繭乾燥機も備えられていました。

蚕種や繭、生糸の輸送に貢献した上野鉄道と繭の保管を担った下仁田倉庫は、流通の面から絹産業の近代化に貢献した文化財であり、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の構成資産の一つとして、世界遺産登録を目指しています。



# 見学のご案内

群馬  
流通

# 旧上野鉄道関連施設

下仁田町・富岡市



## 〈下仁田倉庫〉

### ■行き方

#### ○公共交通機関を御利用の場合

上信電鉄下仁田駅下車→東へ徒歩で約100メートル

#### ○自動車を御利用の場合

〈富岡方面からお越しの場合〉

上信越自動車道下仁田IC→国道254号線佐久方面へ約5km→踏切渡ってすぐの信号石神左折→次の信号を左折→突き当たりを左折

〈佐久方面からお越しの場合〉

国道254号線を東京方面へ→下仁田の信号を右折→2つ目の信号仲町を左折→次の信号を右折→突き当たりを左折

※鬼ヶ沢橋梁は、進入路が未整備であり、地形が急峻で危険なため、現在見学できません。詳しくは、下記問い合わせ先に御連絡下さい。

### ■見学をする上での注意点

- ・倉庫前に駐車可能なスペースがあります。
- ・下仁田倉庫は、現在民間会社の所有地のため門の外からの見学となります。  
※敷地内への立ち入りはご遠慮下さい

## 問い合わせ先

下仁田町ふるさとセンター（月曜・祝日の翌日休館）

TEL.0274-82-5345

群馬県